

## 使用済み車両の適正処理および解体・リサイクルを行う マルチ・スズキ・インディアの合弁会社が稼働開始



スズキ株式会社のインド子会社マルチ・スズキ・インディア社（以下 マルチ・スズキ）が、豊田通商株式会社（以下 豊田通商）および豊田通商グループの Toyota Tsusho India Private Limited（以下 TT IPL）とともに設立した、使用済み車両の適正処理および解体・リサイクルを行う合弁会社、Maruti Suzuki Toyotsu India Private Limited（以下 MSTI）が、2021年11月23日に稼働開始した。

拡大するインドの自動車市場における使用済み車両の回収・環境に配慮した適正処理といった課題を解決するため、マルチ・スズキは自動車解体・リサイクル事業を行ってきた実績を持つ豊田通商グループと合弁で2019年10月にMSTIを設立した。このたび、ウッタール・プラデーシュ州ノイダ地区の施設の稼働開始を記念して、11月23日に開所式が執り行われ、インドのニティン・ガドカリ道路交通・高速道路大臣をはじめ、鈴木哲駐インド日本国特命全権大使およびマルチ・スズキの鮎川堅一社長、MSTIの赤石優社長らが出席した。

MSTIは、使用済み車両の仕入れから解体、廃液の抜き取りなどの適正処理、解体を行い、処理されたスクラップを素材として販売する。将来的には当該施設で月間2,000台の処理台数を目指す。

使用済み車両を適正に処理することにより、車両や部品の不法投棄を減らし、地球温暖化や土壌汚染・水質汚濁といった環境問題にも対応していく。

**【MSTIの概要】**

会社名	Maruti Suzuki Toyotsu India Private Limited (MSTI)
所在地	ウッタル・プラデーシュ州ノイダ地区(ニューデリー近郊)
出資	マルチ・スズキ 50%、豊田通商 25%、TTIPL 25%
設立	2019年10月
操業開始	2021年11月
従業員数	約50名
事業内容	使用済み車両の仕入れ・適正処理・加工、スクラップの販売